

農業振興部 公共事業評価シート

No			物部川		
事業名	地域用水環境整備事業	地区名	物部川	市町村名	南国市・香美市
事業期間	平成26～28年度	事業主体	山田堰井筋土地改良区		
総事業費	370,000千円	負担割合	国:50% 県:20% 市:20% 地元:10%		

◇事業概要（目的及び内容の説明）

①対象者

賦課面積 (ha)	組合員数 (人)
1,402	3,067

※賦課面積：組合費の徴収対象農地面積

②目的

- 農業用水路を管理する土地改良区において、老朽化に伴う維持補修費の増加や、農業者の離農等に伴う組合費の減少が進行する中で、土地改良区自らが農業用水路を利用した小水力発電を導入し、その売電収入を施設の維持管理（補修等）に充当することで、農業用水路を健全な状態で維持するとともに、維持管理費の節減を図る。

③内容（整備手法）

事項	事業費	事業内容
工事費	346,000	小水力発電施設（発電出力90.6kw）
測量試験費	20,000	
用地補償費	4,000	
合計	370,000	

◇対象者とそのニーズの説明

①現状と課題

- ・山田堰井筋土地改良区は、県内最大の組合員数、受益面積を有し、管理する水路延長も県内最大のL=39.6kmである。
- ・農家の離農等が進行し、土地改良区の収入（組合費）が年々減少している。
- ・現時点（H25）では、耐用年数（40年）を超過した水路は2割程度（L=8.3km）であるが、今後年々増加し、H37年度までには全ての水路が超過する。これに伴い水路の維持管理費（補修費等）が増大する。

②課題解決方法

- ・土地改良区自らが農業用水路を利用した小水力発電を導入し、その売電収入を施設の維持管理（補修等）に充当することで、維持管理費の節減を図る。

③課題解決しなかった場合の影響

- ・農業用水路を健全な状態で維持することが困難となり、地域農業が衰退していく。
- ・農業用水路が有する公益的機能（水質浄化機能、災害防止機能、景観親水機能、防火用水機能等）が維持発揮できなくなる。

◇整備手法の選択理由

①これまで実施してきた対策

- ・土地改良区において、水路の軽微な補修などを実施。

②ニーズへの適合性

- ・土地改良区自らが農業用水路を利用した小水力発電を導入し、その売電収入を施設の維持管理（補修等）に充当することで、維持管理費の節減が図られる。

③整備手法の選択理由

- ・本地区の農業用水路は、小水力発電の導入に十分な落差及び流量を有し、その売電収入により維持管理費の節減が図られるため。